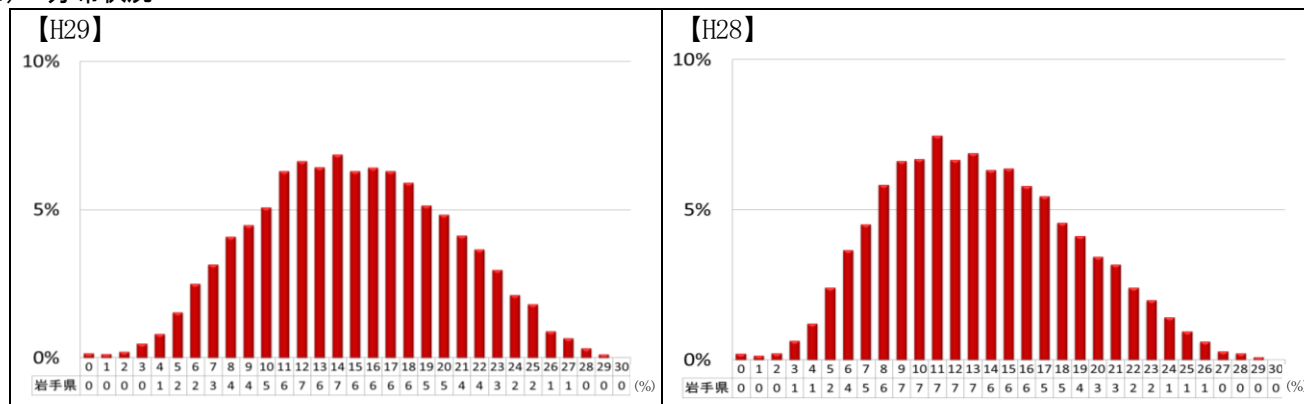


授業改善の手引 中学校第 2 学年社会

1 調査結果

(1) 分布状況



○ 問題数は昨年度と同じで、正答数の最頻値は 14 問、平均正答数は 15 問です。昨年度の分布と比較して、山が右側に移動しています。

(正答数の最頻値：該当する生徒数の最も多い正答数)

(2) 領域等の正答率 (正答率の () の数字は平成 28 年度のもの、〈 〉の数字は平成 27 年度のもの)

領域等	正答率	観点	正答率
地理的分野 (15 問)	59% (47) 〈46〉	社会的な思考・判断・表現 (8 問)	49% (42) 〈50〉
歴史的分野 (15 問)	41% (43) 〈47〉	資料活用の技能 (10 問)	51% (50) 〈47〉
活用 (4 問)	40% (35) 〈47〉	社会的事象についての知識・理解 (12 問)	49% (44) 〈44〉

(3) 結果概要

- 「社会的な思考・判断・表現」の正答率は、昨年度を 9 ポイント上回っています。歴史的な事象について複数資料を読み取って考察、説明する問題等で改善傾向が見られましたが、引き続き学習の充実が必要です。
- 「資料活用の技能」の正答率は、昨年度とほぼ同じでした。鉱産資源に関する資料（地理的分野）や政治の中心地や体制に関する資料（歴史的分野）を読み取る問題について課題が見られました。
- 「社会的な事象についての知識・理解」の正答率は、昨年度を 5 ポイント上回っています。地理的分野が改善傾向である一方、歴史的分野において人物名や中国の王朝名などの定着に課題が見られました。
- 活用に関する問題（小問 8、13、24、25）の正答率は 40% です。地理的事象について複数資料を読み取りそこから考えられることや社会的な事象の特色を説明する問題で課題が見られました。

(4) 経年比較問題の状況 (○改善, ◇改善傾向, ●課題が継続, ▲は前回調査との比較マスを表す)

小問No	正答率	比較	出題のねらい (内容)	H28 比較問題No
○3	66	24	様々な図法の地図を読み取る問題	3
◇8	34	9	複数資料を読み取り社会的な事象について考察する問題 (ブラジルの輸出品)	8
○11	63	23	経度差から時差を読み取る問題	11
●13	33	▲21	複数資料から特色を考察し、条件を踏まえて説明する問題 (きゅうりの取扱量)	13
●17	17	▲72	人物名を答える問題 (天武天皇) ※昨年度は埤弥呼	16
◇21	54	10	西暦年が何世紀かを答える問題	20
◇24	38	25	複数資料を読み取り社会的な事象について考察する問題 (豊臣秀吉の政策のねらい)	24
◇25	56	8	適切な課題を設けて行う学習に関する問題 (考察するための資料の選択)	25

(5) 小問別正答率

問題番号				調査問題のねらい	学習指導要領との関連	主な観点	備考	正答率	選 択 No. (%)						
大問	中問	小問	通し番号						1	2	3	4	5	6	0
									選択	選択	選択	選択	誤答	正答	無解答
1	(1)	1	世界の六大陸の名称と位置を理解している。	地理(1)ア	知			75	9	9	5	75	1		0
	(2)	2	地図から赤道を読み取ることができる。	地理(1)ア	技			70	3	21	70	5	1		0
	(3)	3	様々な図法の地図を読み取ることができる。	地理(1)ア	技	経年		66	9	9	66	9	4		3
2	(1)	①	4	世界の気候帯について、地図から読み取ることができる。	地理(1)イ	技		84	7	84	4	4	1		0
		②	5	世界各地の自然環境の理解をもとに、資料を読み取ることができる。	地理(1)イ	技		49	21	13	15	49	1		1
	(2)	6	世界の様々な宗教について理解している。	地理(1)イ	知			74					25	74	1
3	(1)	7	インドの気候と農業の関連について、複数の資料を読み取ることができる。	地理(1)ウ(ア)	技			53	20	53	15	11	1		1
	(2)	8	ブラジルの輸出品の変化について、複数の資料を読み取って考察し、説明することができる。	地理(1)ウ(オ)	思	経年活用		34					48	34	17
4	(1)	①	9	北方領土について理解している。	地理(2)ア	知		75					15	75	9
		②	10	日本の地域区分、都道府県の名称と位置について理解している。	地理(2)ア	知		59	11	7	59	21	1		1
	(2)	11	経度差から時差を読み取ることができる。	地理(2)ア	技	経年		63	7	20	63	8	1		1
5	(1)	12	鉱産資源の産出について、資料を読み取ることができる。	地理(2)イ(ウ)	技			32	30	32	20	14	2		2
	(2)	13	日本の農業に関する複数の資料を読み取り、その特色について考察し、条件をふまえて説明することができる。	地理(2)イ(ウ)	思	経年活用		33					40	33	27
	(3)	14	世界の地域別人口の変化について理解している。	地理(2)イ(イ)	知			40					51	40	8
	(4)	15	日本の貿易の特色について考察し、判断することができる。	地理(2)イ(ウ)	思			76	6	4	10	76	1		2
6	(1)	16	古代の日本と東アジアとの関わりについて理解している。	歴史(2)ア	知			22	29	22	18	29	1		1
	(2)	17	壬申の乱に関わった天武天皇を理解している。	歴史(2)イ	知	経年		17					54	17	29
	(3)	18	奈良時代に栄えた天平文化について理解している。	歴史(2)イ	知			44	21	44	12	21	1		1
	(4)	19	藤原氏による摂関政治の特色について、資料を読み取って考察することができる。	歴史(2)イ	思			47	47	23	19	9	0		1
7	(1)	20	室町幕府の政治の中心地や体制について、資料を読み取ることができる。	歴史(3)ア	技			20	20	23	18	36	1		3
	(2)	21	西暦から、その年が何世紀であるかを読み取ることができる。	歴史(1)ア	技	経年		54					40	54	6
	(3)	22	琉球王国の成立について理解している。	歴史(3)ア	知			28	31	28	24	15	1		1
	(4)	23	御成敗式目について、資料を読み取ることができる。	歴史(3)ア、イ	技			24	27	34	24	12	1		2
8	(1)	24	豊臣秀吉の政策に関する複数の資料を読み取り、その背景について考察し、説明することができる。	歴史(4)ア	思	経年活用		38					42	38	20
	(2)	25	江戸幕府による禁教の背景について考察するための資料を選択することができる。	歴史(4)イ	思	経年活用		56					42	56	2
	(3)	26	江戸時代の三都の繁栄について理解している。	歴史(4)ウ	知			66	7	66	13	12	1		1
	(4)	27	江戸幕府の政治改革について理解している。	歴史(4)エ	知			40	21	19	40	17	1		2
9	(1)	28	日本の歴史における仏教の変遷について判断することができる。	歴史(2)ウ(3)イ	思			64	11	64	12	10	1		2
	(2)	29	室町文化についての理解をもとに、資料を判断することができる。	歴史(3)イ	思			45	45	13	20	19	1		2
	(3)	30	江戸時代に栄えた元禄文化について理解している。	歴史(4)ウ	知			43	19	43	12	21	4		1
全体正答率								50							

2 指導のポイント

(1) 基礎的・基本的な知識の確実な定着を図りましょう。

ア 問題例とその概要

《問題例》【6】(2)・通し番号 17】(経年比較問題)

＜社会的事象についての知識・理解＞

〔問題文〕 次の文章は、年表中の下線部Bについてまとめたものです。文章中の□にあてはまる人物の名前を書きなさい。(※年表中の下線部B：672年 B壬申の乱がおこる)

天皇のあとつぎをめぐって大海人皇子と大友皇子が争った。この戦いに勝った大海人皇子は、即位して□天皇となり、政治の改革を急速に進めていった。

《解答状況》 【正答率】17% 無解答率：29%

《誤答分析》

歴史的分野で取り扱う様々な天皇の名があげられていました。人物名をみの表面的な記憶にとどまり、各天皇の功績や歴史的事象との関わりについての理解に至っていないことが考えられます。

イ 指導上の留意点

歴史上の人物に関する資料(絵画・文献等)を積極的に活用し、生徒の興味・関心を育てる指導に努めましょう。その上で、それぞれの人物が果たした役割や生き方などについて、「どのような影響を及ぼしたのか」、「なぜそのような判断をしたと考えられるか」といった問いにより、当時の政治の展開や社会の様子などと関連付けて考察させ、その内容について授業のまとめの場面などで「話す」、「書く」などとしてアウトプットする学習活動を効果的に取り入れていきましょう。

(2) 学習の基本となる地図や表・グラフ及び年表の見方等の技能を確実に身に付けさせましょう。

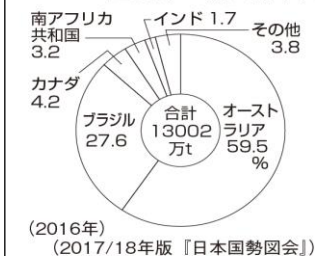
ア 問題例とその概要

《問題例》【5】(1)・通し番号 12】

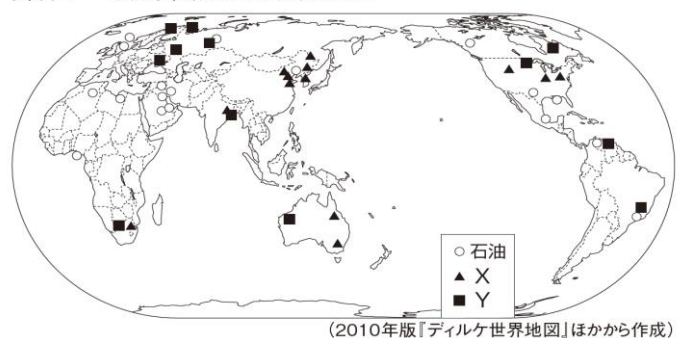
＜資料活用の技能＞

〔問題文〕 次の資料アが示している鉄産資源は何で、それは資料イ中のX、Yのどちらにあてはまりますか。その組み合わせとして正しいものを、あとの1～4の中から1つ選び、その番号を書きなさい。

資料ア 日本におけるある鉄産資源の輸入相手国



資料イ 鉄産資源のおもな産出地



1 鉄鉱石-X 2 鉄鉱石-Y 3 石炭-X 4 石炭-Y

《解答状況》 選択肢1:30% 選択肢2:【正答率】32% 選択肢3:20% 選択肢4:14% 無解答率:2%

《誤答分析》

正答の生徒は約3割にとどまっており、鉄鉱石の輸入相手の国々についての理解が不足しています。また、約5割の生徒が、選択肢1もしくは3を選択しており、資料アとイを関連付けた読み取りが不十分であることや南アメリカ州の主要国であるブラジルの地図上における位置の理解が不足していることが考えられます。

イ 指導上の留意点

エネルギー資源や鉄産資源に乏しいため、我が国は消費する資源の大部分を輸入にたよっている現状について考察し理解させるための指導を充実させていく必要があります。その際、「我が国の生活や産業に必要な資源は、どのように確保されているか」といった問いを出発点にして、地図や統計資料、グラフなどを活用して、必要な情報を収集する、読み取る、まとめるなどの学習活動を取り入れ、具体的な事実を基にした理解へと導きましょう。

(3) 表題の示す内容について、個々の資料の読み取りから確認するとともに、読み取ったことを基に、複数の事象を関連付けて考察し、社会的事象を見出す学習の充実を図りましょう。

ア 問題例とその概要

《問題例》【3】(2)・通し番号8】(経年比較・活用問題)

＜社会的な思考・判断・表現＞

〔問題文〕 次の資料エはブラジルのおもな輸出品の変化を、資料オはコーヒー豆の価格の推移を示したものです。資料エから、1980年当時輸出品第一位だったコーヒー豆が、2014年現在は上位に入っていないことが読み取れます。ブラジルが、コーヒー豆の輸出にたよる経済から転換を図ったのはなぜですか。理由の1つとして考えられることを、コーヒー豆の価格の特徴に触れて説明しなさい。

資料エ ブラジルのおもな輸出品の変化

資料オ コーヒー豆の価格の推移
(ドル/ポンド)

《正 答 例》

コーヒー豆は価格が不安定であり、輸出品でコーヒー豆が多くを占めるような状況を避けるため。

《解答状況》 【正答率】34% 無解答率17%

《誤答分析》

誤答例として、「コーヒー豆の価格が上がったから」「鉄鉱石の価格の方が高いから」など、1つの資料からだけ読み取ったことをそのまま記述したり、資料から予想されることと資料から分かる事実を混同して解答したりするものが多く見られました。

イ 指導上の留意点

複数の資料を読み取る場合、読み取った個々の情報(事実)を「関連付けて」思考・判断し、そのことを根拠に自分の言葉で表現する活動を行わせましょう。また、個々の発表した内容について、問い直したり、発言内容をつないだりして、吟味させるようにしましょう。

(4) 複数の資料を読み取り、読み取ったことから共通して見出される社会的事象について考える学習の充実を図りましょう。

ア 問題例とその概要

《問題例》【8】(1)・通し番号24】(経年比較・活用問題)

＜社会的な思考・判断・表現＞

〔問題文〕 次の資料は、豊臣秀吉の政策について、拓也さんがまとめたものです。この資料から、豊臣秀吉の政策のねらいについてまとめようとするとき、あとの文章中の [] にあてはまる内容を「武士」「農民」ということばを用いて書きなさい。

大岡検地

- ・全国の田畑の面積や土地のよしあしを調査。
- ・農民は土地の所有が認められ、年貢を納める義務を負う。
- ・土地は武士の支配下になる。

刀狩令

一 諸国の百姓が、刀やわきざし、弓、やり、鉄砲、その他の武器を持つことは固く禁止する。不要な武器をたくわえ、年貢や雑税を納めず、一揆をくわだて、その土地の領主に対してよからぬ行為をする者はもちろん処罰する。

(「小早川文書」より部分要約)

- ・農民から武器を取り上げる。
- ・農民は武器の所有が禁じられる。
- ・一揆を起こした者、年貢を納めない者は処罰される。

豊臣秀吉の政策のねらい

秀吉は、 [] ことで、武士が強い支配権をふるう社会を築こうとした。

《正 答 例》 武士と農民との身分の区別を明確にする。

《解答状況》 【正答率】38% 無解答率20%

《誤答分析》

誤答例として「武士や農民を使って石高をあげる」「農民が一揆などを出来ないようにした」などがありました。誤答の要因として、個々の政策の表面的な内容の理解にとどまっている生徒が多く、複数の政策の根幹をなす「ねらい」にまで理解されていないものと考えられます。

イ 指導上の留意点

各時代の学習を進める際は、その時代を特徴付ける法令や政策などの「特色」「意味」「意義」などを説明できるようにするとともに、それらを基に、その時代を大まかに捉えることができるようにすることが大切です。そのために、各時代の政策や法令などについて、時代ごとにまとめて違いや共通点などから特色を明確にし、各時代の特徴をつかませる活動を取り入れることが大切です。